

基本設計開始までの FBR 研究開発体制 (炉関係)

2006 年 12 月 27 日

文部科学省

経済産業省

電気事業連合会

日本原子力研究開発機構

「高速増殖炉サイクル実用化研究開発」のうち、FBR の主概念 (MOX 燃料ループ型ナトリウム炉) の研究開発体制について以下の通り進めることとする。

なお、実証炉の基本設計を開始する段階で、その後の開発体制について改めて見直すこととする。

- これまでの護送船団方式を脱却し、明確な責任体制のもとで効率的に FBR 開発を実施できるよう、中核メーカー 1 社に責任と権限及びエンジニアリング機能を集中する。
- 中核メーカーが、電力の出資を一部受け、FBR 開発会社 (以下新会社) を設立することが望まれる。この新会社では、FBR に関わるエンジニアリング機能を集積するため、FBR のエンジニアリングの一括実施とメーカーへの発注を行う。
- 文部科学省、経済産業省、電気事業連合会及び原子力機構が策定する方針に従って、原子力機構は、上記中核メーカー選定のための委員会を設置し、FBR の技術開発能力・技術開発実績・我が国産業界全体の実力の涵養等の観点から中核となるメーカー 1 社を選定する。具体的な選定手続き、選定の判断基準、中核メーカーに期待する具体的業務等については、委員会において別途定める。
- 原子力機構は、選定結果を文部科学省、経済産業省及び電気事業連合会に報告し、了承を得る。

なお、副概念 (金属燃料炉心) については、主概念と独立した責任体制での遂行とする。

以上

